

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・先月に引き続きタスポの影響で来客数は増加している。また7月に入ってから猛暑で、飲料・ビール・アイスクリーム等の動きが良く、売上増にも貢献している。
	やや良く なっている	スーパー（販売 担当）	来客数の動き	・急に暑くなったためか、ガソリンの値上げのためか、郊外へ足を伸ばしていた客が近くで買物をするようになり、来客数が増えている。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・今月は売上高は伸びたが、その伸び（前年比105%）と来客数の伸び（前年比112%）との間に開きがあった。これはたばこだけを買う客が多かったために客単価が低く、このために売上は来客数ほど伸びなかったということである。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・タスポの導入でたばこの売上が増加している。また、猛暑で飲料・アイス・冷やし麺などが好調である。弁当などの単価が下がったり、その他商品の買い控えも見受けられるが、それを補う以上に売上は増加している。
		家電量販店（店 員）	来客数の動き	・ボーナス需要、地デジ、オリンピック効果で来客数が多かった。
		家電量販店（予 算担当）	販売量の動き	・前年・前々年は7月の気温が平年に比べてやや低かったが、今年は平年以上の日が続くなどしたため、エアコンを始めとした季節商材の売上が順調である。
		スナック（経営 者） 観光型ホテル （スタッフ）	競争相手の様子 来客数の動き	・5～6月は大変悪かったが、7月に入り天候も良く、客の出足も良くなり回復している。 ・原油の高騰により国内旅行が増えているため、やや良くなっている。遠方へ出かけていた客が近場に旅行する傾向が現れてきている。
変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数・購買額からみて、少し持ち直してきており、「底を打ったのかな」といった印象がある。しかしこの現象は、ボーナスによる一時的なものかもしれない。	
	商店街（代表 者）	お客様の様子	・売上に関しては、ボーナスの影響でさほど落ち込んではいないが、諸物価の値上がりは顕著である。またインフレを強調するマスコミの影響が大きく、まるで消費抑制に誘導しているような印象を受ける。	
	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・雨が少なく、気温も高いため水着の売上は堅調に推移している。通常期の商戦が苦戦した分、セールは堅調であったが、前年並みの推移であり、景気が良くなったという実感はない。	
	百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・今月も先月と同様に売上が伸びない状況が続いており、前年同月の90～95%といった状況であり、前年からの低迷がずっと続いている。	
	百貨店（売場担 当）	お客様の様子	・アクセサリーなどは依然として厳しいが、実需品であるパラソルや化粧品などはおおむね堅調に推移している。ただ猛暑が続いているおかげなので、いつまで継続するか分からない。	
	百貨店（販売担 当）	販売量の動き	・セール期に入ってもまとめ買いは少なく、明らかに買い控えの傾向が強くなっている。	
	スーパー（店 長）	販売量の動き	・前月同様、販売点数については、前年比105～106%と前年を大きくクリアしている。来客数についても年比102～103%で推移している。	
	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・来客数で見ると前年比で約5%の上昇、客単価は前年を割り込んではいないが、全体の売上は伸びている。来客数が伸びているのは、気温が高く天気が良好のためと判断している。	
	衣料品専門店 （地域ブロッ ク長）	販売量の動き	・7月中旬から気温が一気に上昇し、盛夏物の売行きが好調だったが、長続きしない。	
	家電量販店（店 長）	お客様の様子	・猛暑により、エアコンは絶好調であるが、これは一時的なものではない。販売高は確保できているが、景気そのものが良くなったという実感はない。	
乗用車販売店 （サービス担 当）	お客様の様子	・販売量自体はあまり変わらないが、商談の中で値引きが大きくなっている。客は他社店舗にも多く訪れ、競合が激しくなっている。		

	その他専門店 [カメラ] (店長)	来客数の動き	・来客数は前年比で、やや横ばいの状態になっている。
	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・現在の来客数、予約数等は特に変化なく、前年並みの状況である。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・当店のラーメンが大手スーパーで販売され始めたり、コンビニでカップになったりしたが、こちらは支店なのであまり影響はなかった。むしろ暑さのために、やや人出が減った。
	都市型ホテル (従業員)	販売量の動き	・7月は宿泊・レストラン・宴会とも前年比で増収の見込みとなっているが、単月の増収であり、前後月は厳しい。
	タクシー運転手	来客数の動き	・7月の観光シーズンになってもタクシー利用者が増えず、夜間の利用も減っている。夜の繁華街でもあまり良くない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・7月に入り前半はあまり動きが良くなかったが、中旬以降は前年並みに戻してきた。昼の動き、夜の繁華街、観光等スムーズに動いている。しかし各社の賞与支給が夜の動きに反映されている様子もなく、中長距離の客は依然少なく、苦戦している。
	通信会社 (総務担当)	お客様の様子	・契約獲得が伸び悩み、解約も想定範囲内であるものの高水準で推移しており、契約者数の純減傾向が続いている。
	通信会社 (総務担当)	販売量の動き	・原油高騰・物価高が続き、消費者意識の低迷により7月ボーナス商戦期での販売は低迷した。
	テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・天候には恵まれたが、入園者数は低調である。3連休から夏イベントが始まったが、本格的には8月からとなるため、現状は良くなってはいない。
	ゴルフ場 (営業担当)	単価の動き	・直前予約が多く、現状では予約人数が例年と比べて減少傾向にある。
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	お客様の様子	・来客数も減少しているし、客との会話のなかでも、ガソリン代の高騰や食品の値上げの話が多く、消費を控えている様子がうかがわれる。今すぐ必要でないものは買い控える傾向も見受けられ、消費が鈍っているという印象を受ける。
	一般小売店 [靴] (経営者)	お客様の様子	・客に購買意欲が見受けられない。持っていないでも出さないようにしているのか、あるいは購買意欲を持って買物できる状況ではないのか、どちらにする、買おうという気力が客の様子から汲み取れない。
	一般小売店 [酒店] (経営者)	お客様の様子	・不正表示、物価の上昇、産地偽装など食品を取り巻く環境が悪すぎて、消費者に節約ムードがある。必要な物を必要なだけ購入する傾向があり、この暑さも消費意欲を低下させている。
	一般小売店 (経営者)	お客様の様子	・中元ギフトの送り先の見直しで、数が減少している。購買単価も若干低下している。
	一般小売店 [印章] (営業担当)	販売量の動き	・会社関係の注文が少なく、全体的にあまり元気がない。
	百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・今年のクリアランスは立ち上がりは好調であったものの、第1土曜日・日曜日でさえ来客数が少なくなり、盛り上がったのは2～3日であった。以降、厳しい暑さにより来客数も少なく、再値下げ、再々値下げなども効果がない。
	百貨店 (販売促進担当)	お客様の様子	・諸物価高騰が背景にはあると思われるが、セールにおいても単品購買の傾向が強まっている。また中元においては件数絞り込みが顕著で、反面、全品15%OFFの中元早割りが30%以上伸びるなど、価格に対してより厳しい傾向が現れている。
	百貨店 (売場担当)	販売量の動き	・7月からクリアランスに入り、6月よりマイナス幅が小さくなったが、依然前年割れ基調が続いている。なかでも高額バッグが不振で、店全体の売上げも前年比95%となった。
	百貨店 (購買担当)	お客様の様子	・通常なら秋物が店頭に並び始め客の目を引くのだが、毎日30度を越す暑さで、今年は夏物のTシャツ・タンクトップといった低価格の物しか動かない。しかし、食品部門では値上げの影響もあってか、順調に推移している。

スーパー（店長）	販売量の動き	・客に、チラシ掲載商品で安くても、自分の家庭で使用に適した量だけの商品を購入する傾向が、顕著に見られる。
スーパー（店長）	来客数の動き	・商品の値上げラッシュのため、客1人あたりの買上げ件数が以前より落ち込んでいる。
スーパー（経理担当）	お客様の様子	・ガソリン代の大幅な値上げにより、買い物だけでなく、全般的にいろいろな動きが鈍っている。
スーパー（財務担当）	単価の動き	・物価の上昇に対する生活防衛のためか、1人当たり買上げ点数が下がり、客単価が低下している。
スーパー（経営企画）	単価の動き	・食品の値上げなどがあり、1品平均単価は前年比4円上がって102.69%であるが、客単価は9円下がって99.39%である。節約志向がうかがわれる。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月は1週目はそこそこだったが、2週目以降猛暑のため売上が急降下した。特に弁当類などコンビニを中心とした定番商品の需要が落ち込んだ。景気ももちろんだが、我々の業界では暑さが厳しく影響し、今年は猛暑が続くとこのことで楽観できない。
衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月の前半は暑さに耐えられなくなったのかメンズの動きがよく、ショートパンツやポロシャツ中心に売上も伸びていたが、夏休みに入る20日過ぎからは来客数の動きがパタッと止まった。20日過ぎからはセール品にしか客の目がいっていない。
衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・スーツなどの、単価の高い商品が売れなくなってきている。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・今月は猛暑ということで、季節商材の動きが非常に早い。しかし、これが終わると、物価上昇の影響で、客の買い控えが出てくると思われる。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・我々の扱う車種は少し大きい車なので、7月の受注状況は非常に悪く、前年比で20%近くのマイナスとなった。燃費の少ない小型車や軽四輪車へのシフトが一段と進んでいる。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・6月に新型を発表したが、2500CCのため計画を若干下回った。4月以降はコンパクトカー・軽四の販売は好調であったが、その他の車種は苦戦している。全車でみると前年を若干下回った。
乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・物価が上がるといって、切迫した状況ではないが買い控えが起きている。客の話からも警戒はできないという言葉がでる。生活必需品ではない商品を扱っているため、より安価な方へ流れる。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・全体の販売金額はどうか維持できているが、タイヤ、ナビゲーション等の主力商品の販売数が伸びない。タイヤは春先の値上げで販売金額は維持できているが、ナビゲーションは大幅な単価下落で厳しい推移となっている。
自動車備品販売店（店長）	お客様の様子	・大型商品を見る客は多いのだが、購入にはつながらない。
住関連専門店（広告企画担当）	来客数の動き	・家具を買える余裕がある方と、そうで無い方との差が激しくなっている。
その他小売（営業担当）	販売量の動き	・来客はあるが販売につながらない。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・日常生活の中でも、外食が一番削られる部分であると思うが、客の来店頻度が著しく低下している。コース予約も少ない。
その他飲食 [ハンバーガー]（経営者）	単価の動き	・来客数に関しては伸びている店舗もあり、落ちていても想定内の範囲内に収まっている。しかしながら客単価の落ち込みが4～8%と大きく、売上に悪影響を与えている。
観光型ホテル（経理総務担当）	お客様の様子	・夏休みに入っても宿泊客の動きが鈍い。さらにマイカーでの移動を控えて、公共交通機関を利用するため、最寄り駅からの無料送迎の依頼が多い。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊では団体客の入りが少なくなっており、ファミリー客も減っている。
旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・ある旅館へ訪問した際、お盆の個人客の予約にすらまだ空室がある。例年であれば、今の時期は客にお断りをしている時期で、今までにない状況である。

	タクシー運転手	販売量の動き	・岡山県のタクシー業界も、6月11日に国から売上の悪いと認められる監視地域に認定され、経営者もタクシー運転手も、改めて本当に悪いんだなと実感させられている。
	テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・6月に地元企業の倒産が相次ぎ地元客が減っていた上に、夏休みに期待していた中・長距離の客もガソリン代の高騰のせいがかほとんどいない。駐車場はガラガラで近くの観光道路も県外ナンバーの車は走っていない。
	テーマパーク (業務担当)	お客様の様子	・特に来客数が減っているわけではないが、節約モードが漂っていることを肌で感じる。
	美容室(経営者)	競争相手の様子	・同業者と話をしていても、どの店も来客数が減少している。キャンペーン等で単価を下げれば集客できるが、平常に戻すとまた客が離れてしまう。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・新店オープンや企画など、努力した割には客の動きが今一つ悪い。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・ガソリン高を商品の価格に転嫁できない、固定経費を切り詰めようがない、など手の打ちようがない。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・建設費の高騰や金利の上昇など、景気の先行き不安からいくつかのプロジェクトが延期、または中止に追い込まれた。
悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・全体の売上が減少している。当商店街は中心市街地にあり、客足も遠のいているし、販売量も減少している。
	商店街(代表者)	単価の動き	・最近、原油価格や食料品の値段が高騰しているのに、自分の収入は増えていないため、客は子供服などについて、より良い品をより安く購入しようとしている。バーゲンでも更なる値下げを待って購入する傾向がありありと見受けられ、非常に厳しい状況が続いている。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・夏休みに入ったが、大学生の会話を聞いていると、仲間達が今年は帰ってこないという人が多い。交通費や、良いアルバイト口のないことが問題のようだ。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・品物の価格の上昇により、買上げ点数が減っている。
	一般小売店[茶](経営者)	お客様の様子	・毎年7月24日、25日は、当商店街で一年で最も盛大な祭りがある。今年は、前年より多いのではというほどの人出があったが、先行き不安からか、とにかく財布のひもが固く、前年の売上までいかなかった店がたくさんあった。
	一般小売店[紙類](経営者)	お客様の様子	・客が来店しても、なかなか購買につながらない。物価高のなか、客もいろいろ考えて儉約している。
	一般小売店(営業)	単価の動き	・ガソリンや原材料の価格上昇の影響が出てきている。お中元を贈るのを止めたり、単価を下げる傾向が強く、売上が前年に比べて2割ほど減少している。またタスポカードの影響もあり、自販機でのたばこの販売量が8割減少している。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・来客数も少なく、外販でもあまり売れない。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・今月は、バーゲン品・処分品にばかり客が集中している。物価の上昇を反映してか、低単価の商品を求める客が増えている。
	スーパー(総務担当)	来客数の動き	・ほぼ毎日来店される客が2~3日に1度、週3回から2回にと確実に週1回は減ってきている。ただし売上は商品の値上げと、来店頻度の減少で一回当たりの購買額が増えたため、前年を若干上回っている。
	コンビニ(エリア担当)	それ以外	・今までは土・日にかなり渋滞していた道路の交通量が極端に少なくなっている。人の動きが悪くなっている。
衣料品専門店(経営者)	それ以外	・メーカーの展示会で同業者やメーカーの話で「こんなに悪いのは経験がない」といった話ばかりである。新しい商品を探すウィンドショッピングに来店する客までも少なくなった。	
その他専門店[時計](経営者)	来客数の動き	・特定の客しかお買い上げいただけない。また地金が高騰しており、値ごろ感がないのでこの売り上げも落ちている。さらに競合するチェーン店の進出が後を絶たない。	

	その他専門店 [布地] (経営者)	来客数の動き	・7月初めからバーゲンセールを行っているが、前年より来客数が相当減少している。また、客単価も低下している。		
	都市型ホテル (総務担当)	それ以外	・外国人による国内への団体旅行は、最低施行人員に達しないためにキャンセルが相次ぎ、特に政治的な問題の影響から、韓国からの客が減少している。また、航空会社の地方路線再編成の噂が先行し、その影響で行程の見直しによる集客減もある。さらに企業は原油価格高騰により、ホテルの宿泊費用削減に目を向けてきている。		
	タクシー運転手 設計事務所 (経営者)	販売量の動き 競争相手の様子	・売上が6割くらいになっている。 ・改正建築基準法施行以降の冷え込みがやや回復状況にあると言われるが、同業者の誰もが現在も過去に経験したことのない厳しさを言っている。民間の動きが特に悪い。		
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・客の消極的な様子に引きずられるように、販売受注量が、減少している。また、販売単価まで低下してきている。		
企業 動向 関連	良くなっている	-	-		
	やや良くなっている	-	-		
	変わらない	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・物価の高騰で採算が合わない仕事が多い。取れるところから取って、何とか利益を維持している。	
		化学工業 (総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・原燃料価格の高騰は収まらないものの、高稼働率を維持している。	
		金属製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・仕事量は多く、工場はフル生産で対応している。特に大物部品の受注は多い。	
		輸送用機械器具 製造業 (経営者)	取引先の様子	・クライアントからの受注が、増えているところもあり、減っているところもあるので、全般的には変わらない。	
		建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・本来ならばそろそろ出てくるはずの公共事業関連の動きが、今年は鈍い。	
		輸送業 (運送担当)	取引先の様子	・相変わらず続いている原油価格の高騰の影響を受け、運送業者が車両の運行を最小限に抑えている。	
		通信業 (営業企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・法人向け通信サービスの種類・価格は当分変化がなく、受注面は低迷状態が続いている。特に新規契約の動きは鈍く、既存商品から価格的にあまり変わらない他商品への部分的な変更など、あまり収益に結びつかない商談が目立つ。	
		金融業 (業界情報担当)	取引先の様子	・主要受注先では北米向けは景気低迷から輸出が減少しているが、アジア・欧州向け輸出が依然として好調で、受注全体としては高水準を維持している。	
		やや悪くなっている	化学工業 (総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・月を追ごとに、重油価格高騰の影響が厳しい。価格改定の交渉を進めているが、時間が掛かっている。
			窯業・土石製品 製造業 (総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大口案件がありながら、生産量は低水準であり、新規の引き合いも少ない。原材料価格は高騰の一途で、製品価格への転嫁を行ったが十分にはできていない。さらに製品価格改定後も、原材料価格は高騰が続いている。
鉄鋼業 (総務担当)	受注価格や販売価格の動き		・電力やガスなどのエネルギー関連費用や原材料の高騰が引き続き、これら上昇分のコストを販売価格へ転嫁することが難しく、収益を圧迫している。		
一般機械器具製造業 (経営企画担当)	それ以外		・生産資材の高騰による生産コストの悪化により、収益確保が非常に厳しい状況である。		
電気機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き		・好調かつ安定受注であった自動車関連が、ここにきて特に米国向け大型車の販売不振の影響を受け、下降気味となってきた。携帯関連も春先までの勢いもなく、上昇の兆しも見えない。		
輸送用機械器具 製造業 (経理担当)	取引先の様子		・取引先で進行中の商品開発が調整され、日程延期または中止が相次いでいる。また原油高騰によるガソリン値上げの影響で、自動車の国内販売台数が減少し続けている。		
輸送用機械器具 製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き		・受注量・受注価格共に横ばいの状況が続いている。原材料価格の高騰、諸機材の値上がり、更に夏季一時金を含む人件費の負担増などコストアップの要因が多く、採算面では非常に厳しい状況が続いている。		

		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・原油の値上げや食料品の値上げが相次いでおり、ここに来て消費者の購入意欲が以前に比べ非常に鈍化してきており、軒並み販売状況が思わしくなく、受注量も限定されてきている。また他の企業も含めて原材料や燃料の値上がりを商品に転嫁することもできず、採算面でも非常に苦しくなっている。
		建設業 (経営者)	競争相手の様子	・建設業を取り巻く環境は、受注の減少、独禁法の改正、建築基準法の改正に伴う工事の遅れ、資材の高騰等非常に厳しいものとなっており、今後とも好転は期待できない。
		金融業 (営業担当)	取引先の様子	・ガソリンの値上がりの影響が一番大きい。ガソリンスタンドでは、2千円分だけ入れるという客が多いそうである。また、ショッピングセンターの駐車場の稼働率が、約15%と極端に少ないという状況である。
		会計事務所 (職員)	取引先の様子	・建設業・製造業などでは、例年ならこの時期、夏場以降の受注の話が動き出すのだが、今年はほとんどない。またあっても、材料費の値上がり額が大きいため、受注価額と釣り合いがとれず、引き合いを辞退するケースもある。
	悪くなっている	農林水産業 (従業者)	それ以外	・今月と3か月前を比較すると、沖合底引き網・大中型巻き網船・地元中型巻き網船他、全漁種が減少したため、水揚数量で1900tの減少、水揚金額も3億3000万円の大減となった。全漁種で大幅減少したため、今月単月の前年比では水揚数量で1000tの減少、率で37.7%である。今月は、沖合底引き網・大型定置網・シイラ網以外は、全漁種で減少し、シーズンであるイカ漁をはじめ、ほとんどの漁種が低迷している。燃油高騰の心配も頭から離れず、この先不安なことだらけで苦慮している。また今月は一斉休漁があったが、元々不漁なので数量・金額とも影響はほとんどなかった。
		輸送業 (統括)	それ以外	・燃料代の高騰に対応しきれていない。他業者との競争が一層激化してきている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない			
	やや悪くなっている	人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・消費低迷の影響で百貨店、量販店への販売派遣ニーズが減退しており、時間短縮、勤務日数減、人員削減が発生している。
		求人情報誌製作会社 (担当者)	採用者数の動き	・合同企業説明会への参加申込みのペースが、前年に比べて落ちてきている。
		求人情報誌製作会社 (支社長)	採用者数の動き	・求人サイトの掲載件数が減っている。
		職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・雇用関連で運輸業、製造業、小売業等に業況を聞いたところ、製品原価の上昇や輸送費用の上昇、景気の影響による受注量の減少などにより、収益が圧迫されているという回答が多かった。ただし、コストアップはあるものの、業況は良いという製造業や小売業もある。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・一般パートの合計求人数は前年比で減少を続けているものの、パート求人は逆に増加している。雇用形態が変化してきている。
	職業安定所 (雇用開発担当)	求人数の動き	・新規・有効求人倍率ともに低下傾向が続いている。ただし、来年3月新規高等学校卒業者を対象とした求人は、団塊世代の大量退職に伴う欠員補充をする必要があり、前年を上回っている。	
	民間職業紹介機関 (職員)	採用者数の動き	・自動車関連の地場大手企業の採用担当者によると、「1年前なら採用していたレベルの人材だが、今はもっと上のレベルではないと増員 (費用増加) はしたくない」とのことで、正規雇用者の増加には繋がらない。	
	悪くなっている	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・特に製造業を中心に、原材料価格高などの影響から採用マインドが冷え込んできている。弊社でも求人数は前年の同時期と比較して2割程度減少している。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人はサービス業、製造業、飲食店・宿泊業、建設業、卸売・小売業と幅広い業種で軒並み減少し、全体で前年比で2割近く減少した。特に宿泊業については集客困難ななか、老舗旅館の倒産が相次ぎ、業界全体が非常に厳しい状況にある。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・一部の優秀な人材にのみ複数社から内定が得られ、そこから漏れた人材は、書類選考さえパスできないでいる。また、即戦力人材を求める声が高くなっており、企業も一度下げた採用条件を、高めに設定し直し始めている。